

目次	・熊本地震について	・・・1	・新入職員紹介	・・・5
	・新任のご挨拶	・・・2	・新入職員紹介	・・・6
	・新任のご挨拶	・・・3	・新入職員紹介	・・・7
	・新入職員研修会について	・・・4	・外来診療表	・・・8

熊本地震の被災から1ヶ月を経て

病院長 矢野 智彦



大火災を伴った阪神・淡路大震災も、大津波を伴った東日本大震災も、未曾有の大災害と知っているつもりでした。しかし、熊本地震の直下型の一撃と、留めの本撃に見舞われた時、大自然の猛威を体感し、死の恐怖を感じました。

まずは熊本地震で犠牲になられた方々のご冥福を祈り避難所生活を余儀なくされている方々の一日でも早い自宅生活復帰を祈念申し上げます。

近接する布田川・日奈久断層帯の存在が1400回余りに上る地震の連鎖を生み、断層帯に並行する木山川と秋津川等による軟弱地盤が被害を拡大したのではないかとされています。

菊池市も震度6の地震に襲われました。幸いなことに病院の被害は建物では、「外壁タイルの部分的剥脱と壁面の小亀裂に留まり、内部では、パソコン類の転倒故障4件余りで、棚よりの崩落はなし。」と、ほとんど問題ない状況でした。

3年前に耐震化対策として新築移転していたのが奏功したと思われれます。旧病院の入院棟は「震度5に耐えられない可能性が高い」という判定でした。菊池郡市医師会の「建て替えへの英断」は結果から観ても大正解でした。

さて、ここで、現時点での熊本地震と菊池郡市医師会立病院を検討してみます。当院は124床の内科系病床と120名余の人工透析患者さんを抱える病院です。病院の建物の被害軽微。職員のうち通勤出来ない者3名、自宅外からの通勤16名であり被害軽度と言うべきでしょうか。ライフラインでは水の確保に問題がありました。

診療体制に関しては、外来診療は何とか持ちこたえました。野戦病院的発想も一部はやむを得ずということで、病棟は電子カルテ・紙カルテいずれでも柔軟に対応できる体制を整え、病床124床に緊急ベッド9床を加え災害時医療体制で臨みました。結果的には圏域外入院患者10数名受け入れ、他院透析患者数名受け入れ等、多少なりとも震災対策に貢献することができました。

職員被災の詳細：地震による身体への直接の被害者なし。心的障害は不明であるが多数と推定されます。ほとん

どの職員が何らかの自宅損壊ありますが、自宅全半壊9名、その他自宅外からの通勤10名でした。

病院の建物：軽微な被害あるも病院運営上は直接の問題はありませんでしたが、エレベーターが使用できず、人海戦術に依存することになりました。これは故障ではなく地震時のエレベーター運行設定とその解除の問題で、今後災害時の運用課題となりました。

ライフライン：電気は主要部分を自家発電でカバーできるが、停電なし。ガス；プロパンガスの自動停止のため16日朝のみ非常食。上水；供給停止はなかったが、水質汚濁のため、透析と食事には一時期使用できませんでした。100トンの貯水槽に平均使用量55トン/日（透析30トン/日）でしたので、節水を断行（20トン）。菊池市に水供給を依頼し自衛隊より25トン、50トン、60トンと漸次給水量を増加していただいていたなんとか病院機能の維持ができました。病院所持の井戸が2つありますので、今回の水不足を機会に今後は調整を図り、上水として使用可能状にする予定です。給食材料：3日分の非常食が活躍しましたが総摂取カロリー不足と、野菜などの新鮮材料不足は否めませんでした。社会全体の問題ではありますが、地産地消も一部検討する必要があるようです。

情報の集中と対処：残念ながら非常時の対応機構はこれまで持ち合わせていませんでした。しかし、地震発生のごく早期から主体的に幹部職員、所属長、医師等でグループラインを作成して情報の共有化が計られ、震災当初有効に機能しました。また、毎朝のミーティングを朝夕2回開催して最新情報を病院全体として共有化し、問題点の共有と対策の徹底化が計られ病院が1つのチームとして運用できました。

震災後4週間過ぎた現在、当院が地震から徐々に回復していることは実感できつつあります。そしてそれを支えていただきました菊池市をはじめとした関係諸団体、及び職員の皆様に深謝申し上げます。職員皆様方の疲れも見え始めており、それぞれが何らかの気分転換などをお図りいただいて、今回の難関を共に乗り越えて参りましょう。

新任のご挨拶



総合内科医長
石田 隼一

平成28年4月より、総合内科に着任いたしました石田隼一です。平成15年に自治医科大学を卒業し熊本赤十字病院にて2年間の初期研修の後、天草や八代の病院、一人診療所にて勤務しました。その後、昨年まで熊本赤十字病院にて総合診療科・消化器内科として勤務しておりました。今までの経験を生かし、消化器内科を中心とした総合診療が実践できるように邁進していきたいと思っております。

現在の診療内容としましては、内視鏡検査(胃カメラ、大腸カメラ)が中心ですが、安全で正確、そして、苦痛の少ない内視鏡検査を提供していきたいと思っております。また今後、大腸ポリープを対象とした短期入院での内視鏡治療を展開していこうと思っております。大腸ポリープは大きさに比例してがんの確率が高くなります。すなわち、大きければ大きいほどがんの可能性も大きくなっていきます。内視鏡での切除は体の負担も少なく、合併症も少なく、安全に行える治療ですので、早期治療は非常に有意義といえます。

消化器病一般につきましては、身体の調子が悪いな...と思って内科を受診される方の半数以上が、自覚はないものの、消化器の病気であることが多いといわれています。消化管は食物を消化、運搬し、最後には糞便として排泄する働きを持つため、腫瘍や潰瘍、炎症などの器質的疾患だけではなく、便秘や逆流性食道炎などの消化管運動不全に伴う機能的疾患も多いのが特徴です。そのため胃の痛み、胸の痛み、胸やけ、呑酸(どんさん)、げっぷ、のどのつかえ、のどの違和感、もたれ、膨満感、食欲不振、おう

吐、腹痛、便秘、下痢、下血など、実にさまざまな症状が起こりえます。このような症状は消化器以外の臓器が原因となって起こることもあり症状だけから正確に病気を突き止めることは不可能で、内視鏡検査超音波検査、CT検査やMRI検査などの様々な検査を含めて総合的に判断する必要があります。原因が悪性腫瘍(がん)の場合は発見が遅れることが生命予後に影響する場合があります。日本人のがんの約50%は消化器のがんであり、胃がん、大腸がん、膵がん、肝臓がんなど、様々ながんがあります。

近年日本人に増えてきている大腸がんは、発生する部位によっては症状が出にくく、進行した状態で発見されることもしばしばあります。胃がん、大腸がんについては、早期発見、早期治療にて治る割合が高く、早期でがんを発見することが重要です。そのため人間ドックをはじめとした、胃透視検査、便潜血検査内視鏡検査、腹部超音波検査などの定期的な検査をお勧めしています。

今後は、病院の基本方針にありますように、かかりつけ医の先生方と連携し、地域の皆様に信頼していただけるよう努力してまいります。至らない点が多いかとは思いますが、患者さんとのコミュニケーションを大切に、信頼を得られるような診療を目指して行きたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。





総合内科
沖 尚史

まずはじめに、この度の震災に被災された方々には心からお見舞い申し上げると共に、復興に尽力されている皆様には安全に留意されご活躍されることをお祈りいたします。

平成28年4月から総合内科として赴任することになりました沖尚史と申します。平成25年に宮崎大学医学部を卒業後、国立病院機構熊本医療センターおよび熊本大学医学部附属病院にて2年間の初期研修を終え、熊本大学医学部附属病院 糖尿病・代謝・内分泌内科に入局いたしました。大学だけは県外に出ましたが、生まれも育ちも熊本であり、特に小学・中学時代は西合志町の須屋で過ごしたもので、この度「ふるさと」である菊池に赴任することができ大変嬉しく感じております。

総合内科医として、いわゆる“common disease”と呼ばれる頻度の高い内科系疾患を丁寧に診るとともに、専門である糖尿病・代謝・内分泌内科(糖尿病脂質異常症、尿酸代謝異常などの代謝疾患や脳下垂体疾患、甲状腺疾患、副腎疾患などの内分泌疾患)に関連した病気の診療を行うことで、近隣の先生方と密接で良好な関係を保ちつつ、菊池の地域医療の活性化に少しでも貢献すべく、真摯に努力していきたいと思っております。また、「患者さんの病める気持ちに寄り添うことができる良き医療人を目指す」という初心を決して忘れることなく、全ての医療スタッフと協力して良質な医療を提供できるよう精進していきたいと思っております。今後とも宜しく願い致します。



腎臓内科
小野 真

平成28年4月から菊池郡市医師会立病院に腎臓内科医として赴任することになりました小野真です。

まず、この度の震災で亡くなられた方々に対して心よりご冥福をお祈りいたします。またご遺族の方々にも心よりお悔やみ申し上げます。この度の震災で被災された方々が一日でも早く日常生活を取り戻せるよう、また菊池郡市の方々のお役にたてるよう、微力ながら力を尽くしたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

私は熊本県荒尾市の出身で、地元の中学を卒業後、済々黌高校、佐賀大学医学部を経て、平成26年4月より2年間熊本大学医学部附属病院や荒尾市民病院で研修医として勤務させていただきました。初期研修中には9ヶ月間腎臓内科で研修を行い、今年4月に熊本大学医学部附属病院腎臓内科に入局し、菊池郡市医師会立病院へ赴任いたしました。今まで菊池とはあまり縁がなく、温泉などの観光でしか来たことはありませんでしたが、菊池という風光明媚な土地で腎臓内科医としてスタートをきれることを個人的に大変嬉しく思っています。

また、菊池郡市医師会立病院腎臓内科は今年から私を含めて三人体制となります。二人体制の時より診療の幅を広げていき、また私自身もより患者様のお役にたてる医師になるために努力していきたいと思っております。菊池の皆さまの健康や菊池地域の医療に少しでも寄与できるよう頑張りますので今後ともよろしくお願い致します。

新入職員研修会を終えて

総看護部長 村中 知栄子



春爛漫のみぎり、平成28年4月1日より3日間にわたり看護師を始めとした新入職員総勢23名を対象に新入職員研修会を無事執り行いました。

初日は午後14時の入職式で23名の職員すべてに岩倉会長より激励の言葉と共に一人ひとりに辞令が手渡されました。皆一応に、緊張とこれからの期待に胸一杯の様子が伝わってまいりました。

今年度の23名の入職者の内訳は、看護部門、看護職員11名(新卒6名)薬剤師を始めとした診療支援部門10名 事務部門は事務職員1名でした。

私も就職して早や3年を過ぎましたが、新年度にこれだけ多くの職員を迎えることが出来ましたのは今年度が初めてのことだと思います。

この新入職員研修会は、28年度で4年目になりますが、当初は看護職員を中心に、組織の使命や組織人として自覚を促し、与えられた職場で夢や希望が実現できるスタートラインとして開催して参りました。

看護師や薬剤師の獲得に苦慮していただだけに、新年度に多くの職員を迎える事ができた背景には、現場の職員が、それぞれの使命、役割期待に応えるような地道な努力の証と感謝するところです。

また、看護部では学校の基礎教育に引き続き、職場での継続教育としてキャリアラダーを用いた現任教育を立ち上げ、学習内容を実践に活かし、キャリアアップを図っていくという自己投資力が、部署の更には部門・組織全体の活性化に繋がったものと考えます。

現場の実践レベルにはまだまだ温度差があることは否めませんが、全体的なレベルアップは少しずつですが、手ごたえを感じているところです。

新入職員が職場に早く馴染み実践力を養い、病院の目標である信頼され愛される病院づくりの仲間として頼もしくなる日を期待し、今後の成長を見守り支援していきたいと思ひます。



新

入

職

員

紹

介

総合内科医師

石田 隼一



趣味・特技 ゴルフ・空手

よろしくお願いします。

総合内科医師

沖 尚史

趣味・特技 サッカー、フットサル、
旅行、ドライブ専門分野は代謝内科です。西合志
で小・中学時代を過ごし「地元」である
菊池郡市に医療人としてこの度
帰ってこられたことを非常に嬉しく感
じています。どうぞよろしくお願いします。

腎臓内科医師

小野 真

趣味・特技 野球、水泳
サッカー観戦菊池郡市のお役に立てるよう頑張
りますのでよろしくお願いします。

薬剤師

道崎 満理奈



趣味・特技 音楽鑑賞

社会人1年目で、わからないこ
とばかりでご迷惑をおかけする
かもしれませんが、精一杯頑張
りますので、よろしくお願いします。

4階病棟看護師

緒方 隆史



趣味・特技 料理、お酒

職員としては6年目ですが、新た
な気持ちで頑張りたいと思いま
す。

4階病棟看護師

入嶋 瞳



趣味・特技 雑貨屋巡り、読書

分からないことが多く、勉強の
日々ですが、1日でも早く病院
に貢献できるように頑張ります
のでよろしくお願いします。

4階病棟看護師

蛭子本 映



趣味・特技 元、剣道部です。

たくさん勉強して、一生懸命笑顔
で頑張っていきます。

5階病棟看護師

愛甲 彩乃



趣味・特技 日本舞踊

まだまだ分からないことが多く、
ご迷惑をおかけすることもあると
思いますが、笑顔で頑張ります
のでよろしくお願いいたします。

5階病棟看護師

竹中 香南子



趣味・特技 元ソフトテニス部
音楽鑑賞

ご迷惑をおかけすると思いますが、
一生懸命頑張ります。
よろしくお願いいたします。

5階病棟看護師

三森 大輝



趣味・特技 バドミントン、
野球とかもできます。

笑顔で精一杯頑張ります。

理学療法士

高松 桜



趣味・特技 映画鑑賞

患者様の希望に沿った治療の
できるセラピストを目指します。
よろしくお願いいたします。

作業療法士

古閑 友紀乃



趣味・特技 音楽鑑賞、ドライブ
旅行

患者様に信頼されるセラピストを
目指し、努力していきたいと思
います。よろしくお願いいたします。

作業療法士

徳永 一樹



趣味・特技 サッカー、硬式テニス
音楽鑑賞

新人ということで、まだまだ至らない点
が多々あると思いますが、患者さんの
ためにOTとして何が出来るかを考え行
動できるよう日々努力していきたいと思
います。よろしくお願いいたします。

臨床検査技師

唐鎌 桂



趣味・特技 水泳

慣れないことも多く、ご迷惑お
かけしますが、どうぞよろしくお願
いします。

臨床検査技師

本田 崇登



趣味・特技 バレーボール、
ドライブ

社会人1年目の新人ですが、少しでも
早く先輩方のように地域のため、病
院のために貢献できる技師になりた
いと思います。細長い人を見つけた
ら、気軽に声をかけて頂けるとうれ
しいです。

診療情報管理士

相馬 遥



趣味・特技 スポーツ観戦
旅行

笑顔で明るく頑張ります。
よろしくお願いいたします。



診療情報管理士

伊藤 小雪趣味・特技 映画鑑賞
食べること食べて元気いっぱい頑張ります。
よろしくお願いします。

医師事務作業補助者

波多野 幸世趣味・特技 カラオケ、野球観戦
ライブ参戦笑顔で頑張ります。
よろしくお願いします。

総務課

田中 裕香趣味・特技 映画鑑賞
サッカー観戦楽しく仕事ができるよう、日々努力
しながら、笑顔で頑張ります。

3階病棟准看護師

上野 真輔趣味・特技 ショッピング
おいしいものを食べてまわること人見知りであがり症の緊張しいで
第一印象があまりよくないと思いま
すが、よろしくお願いします。

3階病棟ケアワーカー

功野 佐也香

趣味・特技 ボクシング

今年、学生として入社したのが、私
一人で少し不安なところありますが、
みなさんととても優しく接して下さ
り、これからももっと頑張っていこう
と思います。

総務課

坂梨 瑠璃

趣味・特技 時代小説を読むこと

地域の皆様のために1日も早く業
務を覚えられるように邁進いたし
ます。

管理課

西口 昌彦趣味・特技 硬式テニス
音楽鑑賞学生時代から運動は続けている
ので、体力には自信があります。
一日でも早く慣れるように業務を
頑張ります。よろしくお願いします。

編集後記

このたびの熊本県熊本地方を中心に発生した地震により被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。この熊本地震を経験し阪神淡路大震災や東日本大震災の時から日頃の防災に対する備えが必要と感じながらも、なかなか備えることができていなかったと実感しました。これからは、いつ何時このような大災害が起こっても対応できるような備えが大事になってくると改めて考えさせられました。一日も早い熊本の復旧・復興へ向けて力を合わせていきましょう。

菊池郡市医師会立病院 外来診療表

	午前/午後	月	火	水	木	金	土
総合内科	午前	松田 浩治 石田 隼一	沖 尚史	松田 浩治		古賀 荒太郎	松田 浩治
糖尿病センター 代謝内分泌科	午前	矢野 智彦 古賀 荒太郎	田口 哲也 豊永 哲至	田口 哲也	豊永 哲至 信岡 謙太郎 (菊池中央病院)	矢野 智彦	田口 哲也
循環器内科	午前	予約	石坂 浩	古賀 敏	石坂 浩	熊大 循環器科	古賀 敏
		新患	古賀 敏	石坂 浩	古賀 敏	熊大 循環器科	石坂 浩
腎臓内科	午前				井上 秀樹 (熊大 腎臓内科)	緒方 智博	
消化器内科	午前			検査のみ (熊大 消化器科・他)	済生会 熊本病院		
	午後			検査のみ	検査のみ (石田 隼一)	検査のみ	
神経内科	午前			井上 泰輝 (熊大 神経内科)			
放射線科 (CT・MRI)	午前/午後	本田 伸	本田 伸	本田 伸	本田 伸 上谷 浩之 (熊大 放射線科)	本田 伸	上谷 浩之 (熊大 放射線科)

外来受付時間：午前8時30分から午前11時30分

診療時間：午前9時から午後12時

※検査は予約制となります。

【病院理念】

かかりつけ医の先生方と連携して、地域の皆さまに信頼され、愛される病院を目指します。

【基本方針】

- ・ チーム医療と地域連携に努めます
- ・ より良い医療の提供を目指し、研修・研鑽に努めます
- ・ 自己満足に陥ることなく、業務改善に努めます
- ・ 病院の健全な運営を目指します



一般社団法人 菊池郡市医師会

菊池郡市医師会立病院

〒861-1306 熊本県菊池市大琳寺75番地3

TEL:0968-25-2191 FAX:0968-24-5762 <http://www.kikuchi-hosp.com/>

発行責任者：病院長 矢野 智彦

